


Title	東亞天文協會觀測部月報
Author(s)	
Citation	天界 = The heavens (1937), 17(198): 460-465
Issue Date	1937-09-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/167542">http://hdl.handle.net/2433/167542</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher



## 東亞天文協會

### —(觀測部月報)—

#### 流星課月例報告 (74)

課長 小楨孝二郎

本年7月中の觀測で今までに到着してゐるものは小楨和枝氏と筆者の外に實方雅雄氏のものがあるだけである。實方氏のものは16日、29日、30日の3回で、16日のものにはペルセウス流星群の前驅を若干認めてゐる。30日夜のものの中に蛇遣ひ座に一輻射點を見られてゐる様であるが、あまり確實ではない。

8月2日から10日間筆者は岡山縣津山市に滞在中竹原の吉井耕一氏と同時觀測を計畫した。觀測時間は豫め1時—3時の間を協定したが、屢々夜半後にあらはる露霞の爲妨害された。しかし5, 9, 10, 11の4朝は晴天に恵まれたので、かなりの收獲もあらうかと思ふ。

8月のペルセウス流星群は前記津山で觀測したる外、筆者は12, 13, 14, 15の4朝も觀測した。出現程度は大體例年と大差ない。13—14, 14—15の兩夜は和歌山師範、箕島商業生徒各々1名及び鳥屋城小學校高2兒童を指導して4時間に亙り計數的觀測を行つた。其の結果は後日發表するつもりである。山口縣長府の重村力氏は同志7名と共に11日朝ペルセウス流星群の共同觀測をなし、2時10分—4時の間に164個(内88個はペルセ群)を數へてゐる。

廣島縣廿日市の淺野英之助氏は8月11—12日の夜流星の望遠鏡觀測をされ、40分間に4個のものを記録された。東京の金子駿介氏は7月末の水瓶座流星群を目的として望遠鏡觀測を行はれ合計20數個の流星をみとめられてゐる。

新しく鳥取縣の前田藤子氏からペルセウス流星群の觀測を送られた。今後の活躍を希望するものである。

本年5月及6月の觀測概數は下表の通りである。

觀 測 者	觀 測 地	5 月			6 月		
		回 數	時間數	流星數	回 數	時間數	流星數
小槻孝二郎	金 屋				2	60	3
實方雅雄	京 城 府	3	180	10	1	110	5
佐野英生	敦 賀 市	6	275	46	5	500	31
吉井耕一	竹 原	7	1280	157	2	200	26

この外に松橋高四郎(東京), 木邊成麿(中里), 本田實(廣島縣瀬戸), 松本大三(松江)の諸氏より火球の報告があつた。(Aug. 24, 1937)

## 流 星 課 月 例 報 告 (75)

課 長 小 槻 孝 二 郎

前號發表後私の手に到着したる觀測報告は京城の實方雅雄氏(8月分)及び横濱市の堀田泰生氏(8月分)の外は2, 3の火球報告だけである。これ等は大約の整理を了へて次號に發表するつもりである。

× × × × ×

### ◎愛妹小槻和枝の訃

去る9月19日は私の愛する妹和枝を喪つた日である。8月頃よりやゝ胃腸を害した様であつたが、程なく回復するものと信じてゐた。然るに9月17日突如病急變し大腸カタルによる高熱を發し、そのまゝ19日6時40分天國への旅路に上つた。

妹は本年25歳、今春3月岡山縣の澁谷博氏との間に婚約成り、來る10月吉日を卜して結婚の式を舉げる筈になつてゐた。私にとつては實にあきらめきれぬ悲しみである。昨昭和11年3月頃より流星觀測をはじめ、月を追ふに従つて其の數を増した。同年12月までに行ひたる觀測總數は、

回 數	74
觀測時間數	10375(分)
流 星 數	2142

に上る多數で、其の熱心振りは驚歎の外無かつたのである。その間8月中

一下旬にはペルセウス流星群に次いで、魚座の流星群を發見し、大いに氣を吐いたのであつた。(花山ブレティン320號) 其の後10月のオリオン、11月のレオ、12月のゲミニ等の活動期には、晴夜は何れも缺測したことなく、實に涙ぐましい奮闘をつづけてくれた。本年に入りても觀測をつづけ、最後の觀測は7月7日夜のものである。

更に一言すべきは、私と共に去る1933年の全國的に行ひたる、獅子座流星群の觀測整理である。昨年1月全ての觀測報告を花山より送付され、私と吉井耕一氏(當時私宅に滞在研究中)と妹と3人協同し、仕事を分擔して整理に當つた。3月末吉井氏が竹原に歸郷されて後は、殆んど妹一人がこの整理をつづけた。すでに今日では其の大部分を了し、本年末迄には完了の上發表し得る見込がついてゐたのであつた。ついにそれを見ずして逝つたことは、これ亦痛恨の限りである。

### 遊 星 面 課 月 報 (8月)

8月に入つてシーイングが再び悪くなつた故か、或は火星が遠くなつた故か、見取圖は増加しない。火星の觀測期も過ぎたから近々に一通り纏めて發表する豫定。木星は宵の南天にあり、觀測には絶好なれど、高度低く、例年に比し、條件は悪い。大赤斑は少し色が異つて來た様だ。毎年火星が接近する年は木星の觀測が御留守になる。火星程魅力に富んでゐない故であらう。特に火星が木星に先立つてデビューする年は尙更それが甚しい。土星はもう美しい環を斜にして東天から昇り初め、年末迄愛嬌を振り撒く。8月末迄の火、木星の見取圖受領數を下記する。

	渡邊	前田	青木	大石	田村	津久井	中野	龜島	宗田	奥村	木邊	伊達	計
火星	98	35	15	2	1	1	2	3	1	3	29	35	225
木星	22	0	10	0	0	0	0	0	1	0	0	5	38
計	120	35	25	2	1	1	2	3	2	3	29	40	263

太陽課 黑點相對數報告 (1937年6月)

觀測者(觀測地)	齋藤(臺灣臺中)	後藤(佐賀市松原町)	久保(高知高等學校)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	改發(神戸市關守町)	三宅(大阪府豐中市)	野口(大阪市北區)	木邊(滋賀縣中里村)	正村(岐阜市溝旗町)	杳掛(長野縣青木村)	清水(静岡縣島田町)	大石(静岡縣吉永村)	淺居(橫濱保土谷區)	森久保(橫濱市中區)	堀田(橫濱市鶴見區)	御供(東京市立一中)	菊池(岩手縣水澤町)	田村(北海道函館)
鏡徑耗	50	60	75	80	150	50	76	75	25	102	100	55	58	45	38	48	50	58
倍率	50	80	53	70	68	88	50	60	48	75	73	64	60	60	50	50	50	64
1	雨	76	108	113	欠	62	83	91	93	112	77	欠	曇	欠	118	91	雨	80
2	曇	84	130	155	欠	45	93	70	72	114	116	曇	89	曇	113	137	雨	68
3	曇	曇	曇	125	曇	40	欠	83	69	105	曇	曇	90	曇	95	91	曇	曇
4	曇	88	122	152	曇	50	110	96	曇	111	126	曇	曇	曇	欠	103	曇	曇
5	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
6	126	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
7	84	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
8	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
9	雨	81	105	81	122	37	68	56	60	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
10	曇	91	118	107	170	52	111	80	97	99	95	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
11	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
12	曇	129	182	曇	曇	77	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
13	雨	165	208	249	253	84	146	155	143	192	183	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
14	欠	193	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
15	曇	266	244	310	曇	88	213	195	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
16	曇	251	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
17	曇	266	230	欠	249	102	169	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
18	曇	259	269	225	293	84	154	192	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
19	曇	336	187	214	261	79	曇	187	158	271	243	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
20	172	374	237	217	239	113	223	165	150	237	236	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
21	欠	318	244	227	273	108	168	147	178	199	258	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
22	曇	曇	曇	240	294	欠	178	179	186	欠	259	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
23	曇	245	曇	曇	欠	98	140	169	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
24	曇	187	194	142	149	79	123	133	96	145	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
25	曇	曇	159	186	欠	77	107	123	曇	146	115	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
26	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
27	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
28	曇	171	135	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
29	曇	曇	136	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
30	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
日數	3	19	18	16	10	19	15	20	13	14	13	6	10	7	16	12	13	14
平均	—	195	175	180	230	73	136	128	115	158	167	—	136	—	157	127	168	155

●諸種の都合もあり6月の分から毎月の報告を極く簡単にし、整理統計完成後詳細な報告を發表する積りで居りましたが、永年續いた本欄の型式を突然改變するのは良くないとの山本教授の御注意により、元の型式を復活し改めて茲に6月分(及び其後の分)の報告を掲げます。——Q——

# 太陽課 黒點相對數報告 (1937年7月)

觀測者(觀測地)	齋藤(臺灣臺中)	後藤(佐賀市松原町)	久保(高知高等學校)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	改發(神戸市關守町)	三宅(大阪府豐中市)	野口(大阪府北區)	木邊(滋賀縣中里村)	正村(岐阜市溝旗町)	杵掛(長野縣青木村)	清水(静岡縣島田町)	大石(静岡縣吉永村)	淺居(橫濱保土谷區)	森久保(橫濱市中區)	堀田(橫濱市鶴見區)	菊池(岩手縣水澤町)	田村(北海道函館)
鏡徑耗	50	60	75	80	150	50	76	75	25	102	100	55	58	45	38	50	58
倍率	50	80	53	70	68	88	50	60	48	75	73	64	60	60	50	50	64
1	欠	96	115	113	135	雨	曇	86	雨	雨	101	曇	雨	雨	雨	雨	曇
2	”	103	109	115	欠	43	88	74	雨	曇	欠	103	雨	欠	100	111	”
3	”	150	122	126	”	56	74	70	曇	87	115	77	雨	曇	111	89	”
4	”	83	99	114	101	54	69	84	曇	81	78	77	欠	”	81	曇	”
5	”	109	曇	曇	欠	80	曇	曇	雨	曇	欠	曇	”	欠	82	”	”
6	”	143	131	”	”	79	”	”	”	109	”	109	”	72	103	雨	150
7	”	175	162	205	”	83	137	151	雨	雨	176	170	182	156	154	曇	184
8	240	208	210	250	240	105	172	179	132	184	234	147	233	欠	155	雨	曇
9	196	213	188	曇	欠	132	曇	曇	215	235	235	曇	223	”	欠	欠	252
10	249	曇	曇	222	216	167	172	193	曇	175	欠	190	266	”	198	曇	216
11	欠	266	”	曇	欠	183	196	曇	247	曇	”	189	曇	曇	曇	曇	曇
12	”	334	雨	”	”	曇	曇	曇	雨	”	”	曇	”	256	209	雨	”
13	”	418	雨	”	”	”	”	”	雨	”	”	”	”	曇	曇	雨	雨
14	”	雨	”	”	288	欠	”	曇	曇	雨	雨	雨	”	”	”	雨	曇
15	”	259	曇	”	欠	”	”	”	”	雨	”	”	”	欠	217	”	”
16	”	348	雨	”	”	”	雨	161	曇	”	”	雨	”	雨	雨	”	”
17	”	274	曇	”	”	”	”	欠	”	曇	曇	曇	191	欠	202	162	曇
18	167	223	189	206	261	”	178	151	”	177	111	169	欠	欠	181	”	”
19	曇	232	244	215	235	”	182	182	169	194	260	149	”	167	184	曇	雨
20	”	227	230	240	228	”	147	168	146	210	242	165	”	171	174	”	曇
21	133	241	132	189	177	”	139	124	131	200	162	101	曇	曇	132	188	”
22	欠	259	224	210	243	”	140	162	150	欠	187	92	”	曇	曇	曇	”
23	159	294	179	212	210	113	152	173	126	212	212	曇	欠	156	189	雨	”
24	109	曇	曇	181	209	120	142	147	112	159	215	110	143	欠	146	”	”
25	曇	雨	曇	曇	192	欠	115	131	曇	曇	欠	曇	131	”	127	”	欠
26	101	136	曇	欠	157	85	113	83	”	”	雨	雨	曇	”	曇	”	”
27	雨	148	134	曇	168	77	132	106	87	126	欠	曇	”	”	146	179	”
28	119	曇	雨	曇	欠	曇	曇	109	雨	曇	曇	”	142	”	165	164	曇
29	雨	雨	”	”	雨	”	曇	”	曇	雨	”	曇	曇	”	曇	雨	曇
30	”	163	”	”	”	曇	”	139	曇	”	”	”	”	”	”	曇	曇
31	”	153	142	”	190	103	125	132	”	”	欠	”	”	”	”	曇	”
日數	9	25	16	14	16	15	19	20	12	11	14	12	10	7	20	4	4
平均	—	210	163	186	203	99	139	137	138	164	175	139	170	—	151	—	—

●清水氏の寫眞觀測はイタリツク字體の7日。

●久保氏から黒點の寫生圖2枚、野口氏から黒點の經緯度觀測等の報告がありました

なほ杵掛氏は黒點の緯度を同時に報告されてゐます。——Q——

# 太陽課 黒點相對數報告 (1937年8月)

觀測者(觀測地)	齋藤(臺灣臺中)	後藤(佐賀市松原町)	久保(高知高等學校)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	改發(神戸市關守町)	三宅(大阪府豐中市)	野口(大阪市北區)	木邊(滋賀縣中里村)	正村(岐阜市溝旗町)	沓掛(長野縣青木村)	大石(静岡縣吉永村)	淺居(橫濱保土谷區)	森久保(橫濱市中區)	堀田(橫濱市鶴見區)	菊池(岩手縣水澤町)	田村(北海道函館)
鏡徑耗	50	60	75	80	150	50	76	75	25	102	55	58	45	38	50	58
倍率	50	80	53	70	68	88	50	60	48	75	64	60	60	50	50	64
1	140	145	204	202	200	126	147	166	欠	145	曇	180	欠	169	曇	270
2	雨	222	236	欠	220	176	188	253	173	雨	176	253	”	233	248	308
3	”	261	285	255	249	194	208	249	189	260	182	211	”	240	220	360
4	”	232	295	266	239	217	215	253	181	280	260	240	”	206	233	381
5	曇雨	292	300	297	260	170	254	284	曇雨	266	179	欠	241	194	227	曇
6	”	202	222	曇	192	欠	170	240	曇雨	曇雨	欠	146	222	176	雨	268
7	”	164	曇	”	160	”	曇	175	曇	”	曇	曇	曇	曇	”	264
8	”	174	”	”	欠	”	”	曇	75	150	”	曇	133	”	欠	204
9	曇	曇	221	233	”	121	172	215	149	198	145	曇	欠	154	197	301
10	”	223	212	234	176	143	206	263	曇	246	曇	欠	”	198	200	曇雨
11	”	257	欠	291	137	165	206	欠	139	208	160	149	145	157	曇	”
12	”	176	”	225	169	174	186	237	127	155	144	欠	188	133	”	276
13	”	178	”	198	164	121	142	207	91	134	曇	120	150	148	”	曇
14	欠	171	”	163	178	119	146	176	103	欠	116	134	156	174	154	”
15	”	132	”	175	欠	119	119	153	102	158	82	欠	欠	166	雨	295
16	101	103	”	167	161	欠	110	128	96	141	104	129	94	143	曇	304
17	曇	106	”	151	118	71	79	92	曇	112	曇	100	78	102	欠	欠曇
18	”	94	”	94	欠	”	曇	88	”	143	”	86	94	111	”	”
19	”	100	”	116	101	89	75	69	70	89	67	曇	欠	曇	曇	”
20	106	127	”	138	欠	欠	72	100	94	138	曇	120	”	86	”	”
21	欠	118	”	109	167	”	94	101	曇雨	132	”	114	”	72	欠	155
22	”	120	”	雨	欠	”	曇	欠	雨	103	84	129	”	81	”	180
23	”	114	”	164	”	”	130	108	101	曇	120	欠	”	72	曇	曇
24	”	187	”	196	194	109	131	185	150	181	欠	曇	”	133	”	308
25	”	186	”	欠	欠	125	157	205	曇	227	113	178	”	171	”	269
26	”	159	”	190	211	128	153	172	129	184	曇	180	145	178	218	358
27	”	192	”	欠	欠	125	137	129	109	189	”	欠	160	151	213	246
28	”	155	”	”	183	159	142	167	118	174	”	欠	欠	曇	曇	454
29	”	160	”	”	176	118	142	145	99	137	122	130	”	136	”	曇
30	”	138	”	”	欠	61	103	141	73	108	96	69	88	雨	”	”
31	”	176	”	”	”	48	曇	103	曇	雨	107	141	曇	曇	”	”
日數	3	30	8	20	20	22	26	28	19	25	17	19	13	26	9	18
平均	—	169	—	193	183	131	150	172	121	169	134	149	144	149	—	289

●堀田氏から黒點のスケッチ25枚、野口氏から黒點の經緯度觀測、沓掛氏の黒點緯度觀測の報告がありました。

●今月は一般に天候が良好で優秀な觀測結果が集つた事を嬉しく思ひます。 —Q—